

# 令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況について〈概要版〉

※括弧内は平成30年度の数値

## 1. 暴力行為について

### (1) 暴力行為の発生件数

	神戸市の発生件数	1,000人あたりの発生件数			
		神戸市	全国	兵庫県	指定都市
小学校	483 (404)	6.4 (5.3)	6.8 (5.7)	4.1 (3.1)	—
中学校	498 (480)	14.6 (14.0)	9.1 (9.3)	7.3 (7.4)	—
高等学校	14 (18)	2.3 (2.9)	2.1 (2.2)	2.3 (2.5)	—
合計	995 (902)	8.6 (7.7)	6.5 (5.9)	4.6 (4.1)	8.7 (8.1)

### (2) 暴力行為の内訳で最も多いもの

項目	神戸市	全国	兵庫県	指定都市
生徒間暴力	83.1% (83.1%)	70.7% (70.1%)	75.2% (76.4%)	73.5% (72.0%)

### (3) 今後の対応等

- 学校だけでは解決困難な事案に対して、教育委員会事務局に新設した地区統括官、学校法務専門官、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや警察等の関係機関と連携を図りながら、多面的・専門的な支援を行う。

## 2. いじめについて

### (1) いじめの認知件数

	神戸市の認知件数	1,000人あたりの認知件数			
		神戸市	全国	兵庫県	指定都市
小学校	4,870 (3,844)	64.7 (50.6)	76.4 (66.0)	57.0 (40.5)	—
中学校	1,956 (1,638)	57.4 (47.6)	34.5 (29.8)	44.0 (32.8)	—
高等学校	36 (19)	5.9 (3.0)	6.3 (5.2)	6.3 (5.3)	—
特別支援学校	4 (7)	3.6 (6.4)	21.4 (19.0)	25.6 (20.9)	—
合計	6,866 (5,508)	58.9 (46.8)	51.7 (40.9)	43.4 (31.3)	53.4 (50.0)

### (2) いじめの解消状況

項目	神戸市	全国	兵庫県	指定都市
いじめが解消している	79.3% (75.8%)	83.2% (84.3%)	80.0% (82.6%)	86.0% (88.1%)

### (3) いじめの発見のきっかけ

項目	神戸市	全国	兵庫県	指定都市
教職員が発見	29.3% (31.0%)	12.9% (13.3%)	17.0% (20.9%)	13.5% (13.3%)
当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	30.2% (27.0%)	10.2% (10.3%)	20.3% (19.2%)	13.6% (12.5%)
本人からの訴え	26.1% (21.3%)	17.4% (18.2%)	22.4% (19.9%)	18.5% (19.1%)
アンケート調査など学校の取組により発見	2.9% (7.4%)	54.5% (53.0%)	31.8% (30.6%)	49.1% (49.9%)

※「教職員が発見」は「学級担任が発見」「学級担任以外の教職員が発見」「養護教諭が発見」を合わせた数値

### (4) いじめの態様

項目	神戸市	全国	兵庫県
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる	47.1% (47.3%)	61.9% (62.7%)	57.5% (58.9%)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	25.9% (27.3%)	21.6% (21.5%)	22.1% (22.1%)

(5) いじめる児童生徒への特別な対応

項目	神戸市	全国	兵庫県
保護者への報告	87.2% (87.4%)	47.1% (45.6%)	78.4% (74.5%)
いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	55.8% (58.1%)	46.9% (43.7%)	60.4% (59.3%)

(6) いじめられた児童生徒への特別な対応

項目	神戸市	全国	兵庫県
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	79.5% (79.7%)	9.4% (11.4%)	42.5% (47.8%)

(7) いじめの日常的な実態把握

項目	神戸市	全国	兵庫県
アンケート調査の実施	98.5% (99.6%)	99.8% (99.8%)	99.3% (99.5%)
家庭訪問	85.2% (92.0%)	62.4% (69.1%)	78.0% (81.8%)

(8) 今後の対応等

- ・垂水区中学生自死事案の再調査報告書の提言を踏まえ、令和2年9月に策定した「神戸市いじめ対応のための実施プログラム」に基づき、いじめ防止対策に取り組むとともに、その進捗状況を神戸市いじめ問題審議委員会に報告し、適宜必要な見直しを進めていく。
- ・いじめ防止対策推進法やガイドライン等の制度意義や趣旨を周知徹底する研修を継続するとともに、いじめへの適時・適切な対応を図るため、事例を取り入れた実践的な研修を実施する。
- ・今後も、いじめの積極的な認知に努め、学校全体で組織的に未然防止、早期発見・早期対応を行う。

### 3. 長期欠席（不登校等）について

(1) 長期欠席の状況

	市の児童生徒数	病気	経済的理由	不登校	その他	長欠計
小学校	75,289 (75,915)	286 (258)	0 (0)	650 (488)	99 (77)	1,035 (823)
中学校	34,082 (34,390)	278 (328)	0 (0)	1,740 (1,506)	57 (48)	2,075 (1,882)
高等学校	6,101 (6,242)	53 (19)	0 (0)	122 (113)	0 (0)	175 (132)
合計	115,472 (116,547)	617 (605)	0 (0)	2,512 (2,107)	156 (125)	3,285 (2,837)

(2) 全児童生徒に占める不登校児童生徒数の割合

	神戸市	全国	兵庫県
小学校	0.86 (0.64)	0.84 (0.70)	0.82 (0.65)
中学校	5.11 (4.38)	4.12 (3.81)	4.62 (4.30)
合計	2.19 (1.81)	1.90 (1.70)	2.02 (1.80)

(3) 今後の対応等

- ・青少年育成センター（適応指導教室「くすのき教室」、民間施設、こども家庭センター、区役所等の関係機関との連携窓口となる不登校担当コーディネーターを配置し、不登校児童生徒への支援を一層図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した児童生徒の悩みを受け止める校内相談体制の充実、不登校担当等の生徒指導関係教員への研修等を通じた生徒指導体制の充実を図る。

# 令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況について

## 1 暴力行為の発生件数

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		30年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)
小学校	42,548	6.8	1,175	4.1			483	6.4	404	5.3
中学校	27,120	9.1	958	7.3			498	14.6	480	14
高等学校	4,564	2.1	234	2.3			14	2.3	18	2.9
全体	74,232	6.5	2,367	4.6	17,611	8.7	995	8.6	902	7.7

## 2 暴力行為の内訳

### (1) 全体

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		30年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	9,630	13.0%	300	12.7%	1,921	10.9%	90	9.0%	80	8.9%
生徒間暴力	52,455	70.7%	1,781	75.2%	12,940	73.5%	827	83.1%	750	83.1%
対人暴力	1,018	1.4%	24	1.0%	271	1.5%	11	1.1%	5	0.6%
器物損壊	11,129	15.0%	262	11.1%	2,479	14.1%	67	6.7%	67	7.4%
計	74,232		2,367		17,611		995		902	

### (2) 小学校

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		神戸市(公立)		30年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	6,445	15.1%	165	14.0%	36	7.5%	28	6.9%
生徒間暴力	31,203	73.3%	919	78.2%	420	87.0%	359	88.9%
対人暴力	294	0.7%	2	0.2%	2	0.4%	-	0.0%
器物損壊	4,606	10.8%	89	7.6%	25	5.2%	17	4.0%
計	42,548		1,175		483		404	

### (3) 中学校

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		神戸市(公立)		30年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	2,875	10.6%	118	12.3%	52	10.4%	50	10.4%
生徒間暴力	18,398	67.8%	715	74.6%	401	80.5%	375	78.1%
対人暴力	566	2.1%	14	1.5%	6	1.2%	5	1.0%
器物損壊	5,281	19.5%	111	11.6%	39	7.8%	50	10.4%
計	27,120		958		498		480	

### (4) 高等学校

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		神戸市(公立)		30年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	310	6.8%	17	7.3%	2	14.3%	2	11.1%
生徒間暴力	2,854	62.5%	147	62.8%	6	42.9%	16	88.9%
対人暴力	158	3.5%	8	3.4%	3	21.4%	-	0.0%
器物損壊	1,242	27.2%	62	26.5%	3	21.4%	-	0.0%
計	4,564		234		14		18	

### 3 いじめの認知件数

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		30年度神戸市(公立)	
	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)
小学校	479,447	76.4	16,191	57.0			4,870	64.7	3,844	50.6
中学校	102,738	34.5	5,791	44.0			1,956	57.4	1,638	47.6
高等学校	13,918	6.3	657	6.3			36	5.9	19	3
特別支援学校	2,963	21.4	144	25.6			4	3.6	7	6.4
全体	599,066	51.7	22,783	43.4	108,740	53.4	6,866	58.9	5,508	46.8

### 4 いじめの解消状況

#### 神戸市

区分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中		その他		計 件数	30年度 (1)解消しているもの	
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合		件数	認知件数に 対する割合
小学校	3,848	79.0%	1,020	20.9%	2	0.0%	4,870	2,829	73.6%
中学校	1,564	80.0%	392	20.0%	0	0.0%	1,956	1,320	80.6%
高等学校	29	80.6%	7	19.4%	0	0.0%	36	19	100.0%
特別支援学校	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%	4	7	100.0%
全体	5,444	79.3%	1,420	20.7%	2	0.0%	6,866	4,175	75.8%

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

#### 指定都市

区分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中		その他		計 件数
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	
全体	93,482	86.0%	15,085	13.9%	173	0.2%	108,740

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

#### 兵庫県

区分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中		その他		計 件数
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	
小学校	12,905	79.7%	3,284	20.3%	2	0.0%	16,191
中学校	4,664	80.5%	1,127	19.5%	0	0.0%	5,791
高等学校	529	80.5%	127	19.3%	1	0.2%	657
特別支援学校	118	81.9%	26	18.1%	0	0.0%	144
全体	18,216	80.0%	4,564	20.0%	3	0.0%	22,783

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

#### 全国

区分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中		その他		計 件数
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	
小学校	400,440	83.5%	78,518	16.4%	489	0.1%	479,447
中学校	83,841	81.6%	18,668	18.2%	229	0.2%	102,738
高等学校	11,694	84.0%	1,983	14.2%	241	1.7%	13,918
特別支援学校	2,381	80.4%	552	18.6%	30	1.0%	2,963
全体	498,356	83.2%	99,721	16.6%	989	0.2%	599,066

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

## 5 いじめ発見のきっかけ

区 分	全国		兵庫県		指定都市		神戸市		30年度 神戸市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
①学級担任が発見	62,215	10.4%	2,643	11.6%	11,629	10.7%	1,345	19.6%	1,066	19.4%
②学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭・スクールカウンセラー等の相談員を除く)	13,257	2.2%	1,126	4.9%	2,747	2.5%	640	9.3%	605	11.0%
③養護教諭が発見	2,017	0.3%	99	0.4%	346	0.3%	30	0.4%	34	0.6%
④スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	885	0.1%	24	0.1%	95	0.1%	5	0.1%	0	0.0%
⑤アンケート調査など学校の取組により発見	326,322	54.5%	7,241	31.8%	53,424	49.1%	198	2.9%	406	7.4%
⑥本人からの訴え	104,434	17.4%	5,102	22.4%	20,103	18.5%	1,789	26.1%	1,173	21.3%
⑦当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	60,816	10.2%	4,617	20.3%	14,776	13.6%	2,071	30.2%	1,486	27.0%
⑧児童生徒(本人を除く)からの情報	20,457	3.4%	1,364	6.0%	3,702	3.4%	496	7.2%	460	8.4%
⑨保護者(本人の保護者を除く)からの情報	7,100	1.2%	448	2.0%	1,619	1.5%	238	3.5%	229	4.2%
⑩地域の住民からの情報	391	0.1%	30	0.1%	95	0.1%	16	0.2%	13	0.2%
⑪学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	809	0.1%	83	0.4%	146	0.1%	38	0.6%	32	0.6%
⑫その他(匿名による投書など)	363	0.1%	6	0.0%	58	0.1%	0	0.0%	4	0.1%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

## 6 いじめの態様 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		30年度 神戸市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
①冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる。	370,918	61.9%	13,099	57.5%	3,232	47.1%	2,606	47.3%
②仲間はずれ、集団による無視をされる。	81,361	13.6%	2,622	11.5%	504	7.3%	379	6.9%
③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	129,195	21.6%	5,027	22.1%	1,781	25.9%	1,503	27.3%
④ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	32,496	5.4%	1,856	8.1%	912	13.3%	835	15.2%
⑤金品をたかられる。	5,923	1.0%	235	1.0%	68	1.0%	73	1.3%
⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	33,252	5.6%	1,430	6.3%	534	7.8%	364	6.6%
⑦いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	49,251	8.2%	2,388	10.5%	863	12.6%	737	13.4%
⑧パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	16,579	2.8%	904	4.0%	251	3.7%	209	3.8%
⑨その他	25,859	4.3%	527	2.3%	197	2.9%	161	2.9%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

7 いじめる児童生徒への特別な対応 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		30年度 神戸市		
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
①スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う。	9,682	1.6%	223	1.0%	26	0.4%	24	0.4%	
②校長、教頭が指導した。	25,597	4.3%	881	3.9%	79	1.2%	55	1.0%	
③別室指導した。	48,296	8.1%	3,460	15.2%	1,177	17.1%	1,176	21.4%	
④学級替えをした。	167	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
退学・転学	⑤懲戒処分としての退学	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	⑥その他	200	0.0%	4	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦停学	328	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑧出席停止	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑨自宅学習・自宅謹慎	1,101	0.2%	114	0.5%	6	0.1%	6	0.1%	
⑩訓告	200	0.0%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑪保護者への報告	282,369	47.1%	17,872	78.4%	5,986	87.2%	4,816	87.4%	
⑫いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	280,732	46.9%	13,765	60.4%	3,832	55.8%	3,198	58.1%	
⑬関係機関等との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	1,203	0.2%	63	0.3%	17	0.2%	17	0.3%
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	787	0.1%	53	0.2%	8	0.1%	7	0.1%
	ウ 病院等の医療機関等との連携	753	0.1%	44	0.2%	17	0.2%	7	0.1%
	エ その他の専門的な関係機関等との連携	1,588	0.3%	83	0.4%	22	0.3%	11	0.2%
	オ 地域の人材や団体等との連携	610	0.1%	38	0.2%	19	0.3%	7	0.1%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

8 いじめられた児童生徒への特別な対応 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		30年度 神戸市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
①スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った。	15,759	2.6%	468	2.1%	53	0.8%	61	1.1%
②別室を提供したり、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保したりした。	19,125	3.2%	896	3.9%	270	3.9%	248	4.5%
③緊急避難として欠席させた。	802	0.1%	1	0.0%	1	0.0%	2	0.0%
④学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した。	56,196	9.4%	9,681	42.5%	5,460	79.5%	4,390	79.7%
⑤学級替えをした。	213	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した。	18,163	3.0%	937	4.1%	89	1.3%	43	0.8%
⑦児童相談所等の関係機関と連携して対応した。(サポートチームなども含む。)	1,989	0.3%	131	0.6%	14	0.2%	4	0.1%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

9 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		30年度 神戸市	
	学校数	構成比	学校数	構成比	学校数	構成比	学校数	構成比
①-1職員会議棟を通じて、いじめの問題について教職員間で共通理解を図った。	33,589	98.2%	1,305	99.8%	262	99.6%	264	100.0%
①-2いじめ問題に関する校内研修会を実施した。	29,525	86.3%	1,305	99.8%	262	99.6%	264	100.0%
② 道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った。	31,984	93.5%	1,237	94.6%	261	99.2%	264	100.0%
③ 児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした。	28,458	83.2%	1,208	92.4%	260	98.9%	261	98.9%
④ スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った。	31,487	92.0%	1,174	89.8%	203	77.2%	184	69.7%
⑤教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った。	28,375	82.9%	908	69.5%	134	51.0%	133	50.4%
⑥ 学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得るよう努めた。	30,769	89.9%	1,307	100.0%	263	100.0%	264	100.0%
⑦ PTAなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた。	17,460	51.0%	626	47.9%	111	42.2%	118	44.7%
⑧いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った。	13,319	38.9%	506	38.7%	80	30.4%	84	31.8%
⑨インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対処のための啓発活動を実施した。	28,966	84.7%	1,127	86.2%	185	70.3%	179	67.8%
⑩学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った。	31,750	92.8%	1,306	99.9%	263	100.0%	264	100.0%
⑪学校いじめ防止基本方針に定めているとおり、いじめ防止等の対策のための組織を招集した。	32,310	94.4%	1,305	99.8%	263	100.0%	262	99.2%

(注1)いじめを認知していない学校も含まれる

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合

10 いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に行った具体的な方法 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		指定都市		神戸市		30年度 神戸市		
	学校数	構成比	学校数	構成比	件数	構成比	学校数	構成比	学校数	構成比	
(1)アンケート調査の実施	29,045	99.8%	1,298	99.3%	4,485	99.5%	259	98.5%	263	99.6%	
① 実施頻度	ア 年1回	505	1.7%	5	0.4%			1	0.4%	4	1.5%
	イ 年2～3回	16,743	57.6%	1,014	77.6%			244	92.8%	243	92.0%
	ウ 年4回以上	11,797	40.6%	279	21.3%			14	5.3%	16	6.1%
② 調査方法	ア 記名式	22,028	75.7%	1,030	78.8%			231	87.8%	221	83.7%
	イ 無記名式	7,896	27.1%	242	18.5%			16	6.1%	30	11.4%
	ウ 記名・無記名の選択式	3,491	12.0%	92	7.0%			13	4.9%	17	6.4%
③ 回答方法	ア 学校で記入	26,710	91.8%	1,138	87.1%			248	94.3%	219	83.0%
	イ 持ち帰って記入	4,431	15.2%	214	16.4%			14	5.3%	9	3.4%
(2)個別面談の実施	27,007	92.8%	1,169	89.4%			228	86.7%	222	84.1%	
(3)「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等	15,582	53.6%	755	57.8%			155	59.0%	170	64.4%	
(4)家庭訪問	18,150	62.4%	1,019	78.0%			224	85.2%	243	92.0%	
(5)その他	1,867	6.4%	68	5.2%			12	4.6%	17	6.4%	

(注1)いじめを認知していない学校も含まれる

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合

### 11 警察に相談・通報した件数

	全国			兵庫県			神戸市			30年度 神戸市		
	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数
小学校	254	0.1%	479,447	12	0.1%	16,191	6	0.1%	4,870	7	0.2%	3,844
中学校	509	0.5%	102,738	21	0.4%	5,791	9	0.5%	1,956	7	0.4%	1,638
高等学校	236	1.7%	13,918	18	2.7%	657	1	2.8%	36	1	5.3%	19
特別支援学校	27	0.9%	2,963	4	2.8%	144	1	25.0%	4	0	0.0%	7
全体	1,026	0.2%	599,066	55	0.2%	22,783	17	0.2%	6,866	15	0.3%	5,508

### 12 「地方いじめ防止基本方針」を策定した自治体(市町村)

	全国		兵庫県		指定都市		神戸市	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
策定済	1,661	95.2%	39	95.1%	20	100.0%	1	100.0%

### 13 「いじめ問題対策連絡協議会」を設置した自治体(都道府県・指定都市)

	全国		兵庫県		指定都市		神戸市	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
設置済	47	100.0%	1	100.0%	20	100.0%	1	100.0%

### 14 条例により、「重大事態」の調査又は再調査を行うための機関を設置した自治体(市町村)

	全国		兵庫県		指定都市		神戸市	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
教育委員会の 附属機関	1,221	70.0%	34	82.9%	18	90.0%	1	100.0%
地方公共団体の 長の附属機関	1,033	59.2%	31	75.6%	17	85.0%	1	100.0%



## 15 長期欠席(不登校等)について

### (1) 神戸市の長期欠席の状況

学校種	在籍児童 生徒数	病気	経済的 理由	不登校	その他	計(長欠)
小学校	75,289	286	0	650	99	1,035
	(75,915)	(258)	(0)	(488)	(77)	(823)
中学校	34,082	278	0	1,740	57	2,075
	(34,390)	(328)	(0)	(1,506)	(48)	(1,882)
高等学校	6,101	53	0	122	0	175
	(6,242)	(19)	(0)	(113)	(0)	(132)
合計	115,472	617	0	2,512	156	3,285
	(116,547)	(605)	(0)	(2,107)	(125)	(2,837)

※下段( )は平成30年度

※ 長期欠席とは、年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒

①「病気」とは、本人の心身の故障等(けがを含む。)により、入院、通院、自宅療養等のため、長期欠席した者

②「経済的理由」とは、家計が苦しく教育費が出せない、児童生徒が働いて家計を助けなければならない等の理由で長期欠席した者

③「不登校」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者

(ただし、「病気」や「経済的理由」による者を除く。)

④「その他」の欄には上記「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しない理由により長期欠席し者。

\*「その他」の具体例

ア 保護者の教育に関する考え方、無理解・無関心、家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情から長期欠席している者

イ 外国での長期滞在、国内・外への旅行のため、長期欠席している者

ウ 連絡先が不明なまま長期欠席している者

### (2) 不登校児童生徒数

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		30年度神戸市(公立)	
	人数	1000人あたり	人数	1000人あたり	人数	1000人あたり	人数	1000人あたり	人数	1000人あたり
		(人)		(人)		(人)		(人)		(人)
小学校	52,905	8.4	2,337	8.2	12,313	9.2	650	8.6	488	6.4
中学校	122,519	41.2	6,084	46.2	27,498	45.6	1,740	51.1	1,506	43.8

# 16 不登校の要因（国・県との比較） ①小学校

全国

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係	教職員との関係	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等の不適応	学校のきまり等	入学時の不適応	家庭環境の変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ	無気力、不安		
①主たるもの	217	5366	1281	2287	167	32	592	1124	1922	8839	914	5452	21782	2930	52,905
	0.4%	10.1%	2.4%	4.3%	0.3%	0.1%	1.1%	2.1%	3.6%	16.7%	1.7%	10.3%	41.2%	5.5%	
②主たるもの以外（2つまで選択可）	132	2917	1081	4702	273	50	678	803	1296	8061	1108	5191	6763		33,055

兵庫県

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係	教職員との関係	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等の不適応	学校のきまり等	入学時の不適応	家庭環境の変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ	無気力、不安		
①主たるもの	12	246	47	104	9	0	24	74	112	373	51	205	972	108	2,337
	0.5%	10.5%	2.0%	4.5%	0.4%	0.0%	1.0%	3.2%	4.8%	16.0%	2.2%	8.8%	41.6%	4.6%	
②主たるもの以外（2つまで選択可）	6	127	58	170	8	0	37	26	55	384	47	185	309	39	1,451

神戸市

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係	教職員との関係	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等の不適応	学校のきまり等	入学時の不適応	家庭環境の変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ	無気力、不安		
①主たるもの	5	77	17	35	3	0	9	17	48	118	7	44	235	35	650
	0.8%	11.8%	2.6%	5.4%	0.5%	0.0%	1.4%	2.6%	7.4%	18.2%	1.1%	6.8%	36.2%	5.4%	
②主たるもの以外（2つまで選択可）	1	39	21	60	3	0	11	6	21	69	13	46	49	19	358

（注）中段は、各区分における分類別児童生徒数に対する割合。

<p>&lt;区分&gt;</p> <p>*学校に係る状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・・・本調査で定義するいじめに該当するもの</li> <li>いじめを除く友人関係をめぐらる問題・・・仲違い等</li> <li>教職員との関係をめぐらる問題・・・教職員の強い叱責、注意等</li> <li>学業の不振・・・成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い等</li> <li>進路に係る不安・・・将来の進路希望が定まらない等</li> <li>クラブ活動、部活動等への不適応・・・部活動の練習に参加したくない等</li> <li>学校のきまり等をめぐらる問題・・・制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくない等</li> <li>入学、転編入学、進級時の不適応・・・転校しなかった、クラス替えが自分の願う学級編成ではなかった等</li> </ul> <p>*家庭に係る状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の生活環境の急激な変化・・・親の単身赴任、離婚等</li> <li>親子の関わり方・・・親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任等</li> <li>家庭内の不和・・・両親の不和、祖父母と父母の不和等</li> </ul> <p>*本人に係る状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムの乱れ、あそび、非行・・・就寝起床時間が定まらず昼夜逆転になる、非行グループに入り非行行為を行う等</li> <li>無気力、不安・・・無気力でなんとなく登校しない。登校の意志はあるが、漠然とした不安を覚え登校しない（できない。）等</li> </ul>
--

# 16 不登校の要因（国・県との比較） ②中学校

全国

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等の不適応、部活動	学校のきまり等をめぐる問題	入学時の不適応、転編入学、進級時の不適応	家庭の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
①主たるもの	286	21207	1506	10318	1497	1136	1425	4566	3588	9181	2295	10584	48669	6261	122,519
	0.2%	17.3%	1.2%	8.4%	1.2%	0.9%	1.2%	3.7%	2.9%	7.5%	1.9%	8.6%	39.7%	5.1%	
②主たるもの以外（2つまで選択可）	240	7259	1369	11835	2647	1511	1655	2445	2118	9683	2163	6582	12436		61,943

兵庫県

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等の不適応、部活動	学校のきまり等をめぐる問題	入学時の不適応、転編入学、進級時の不適応	家庭の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
①主たるもの	15	988	103	703	91	79	130	269	244	530	143	540	2,012	237	6,084
	0.2%	16.2%	1.7%	11.6%	1.5%	1.3%	2.1%	4.4%	4.0%	8.7%	2.4%	8.9%	33.1%	3.9%	
②主たるもの以外（2つまで選択可）	6	330	49	573	161	88	99	149	103	388	137	254	825	41	3,203

神戸市

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等の不適応、部活動	学校のきまり等をめぐる問題	入学時の不適応、転編入学、進級時の不適応	家庭の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
①主たるもの	7	360	27	285	41	24	40	103	99	158	19	123	425	29	1,740
	0.4%	20.7%	1.6%	16.4%	2.4%	1.4%	2.3%	5.9%	5.7%	9.1%	1.1%	7.1%	24.4%	1.7%	
②主たるもの以外（2つまで選択可）	3	67	15	117	61	28	26	60	23	139	35	52	130	18	774

（注）中段は、各区分における分類別児童生徒数に対する割合。下段は、各区分における「学校、家庭に係る要因（区分）」の「計」に対する割合。

- <区分>
- \*学校に係る状況
    - ・いじめ・・・本調査で定義するいじめに該当するもの
    - ・いじめを除く友人関係をめぐる問題・・・仲違い等
    - ・教職員との関係をめぐる問題・・・教職員の強い叱責、注意等
    - ・学業の不振・・・成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い等
    - ・進路に係る不安・・・将来の進路希望が定まらない等
    - ・クラブ活動、部活動等への不適応・・・部活動の練習に参加したくない等
    - ・学校のきまり等をめぐる問題・・・制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくない等
    - ・入学、転編入学、進級時の不適応・・・転校したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成ではなかった等
  - \*家庭に係る状況
    - ・家庭の急激な変化・・・親の単身赴任、離婚等
    - ・親子の関わり方・・・親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任等
    - ・家庭内の不和・・・両親の不和、祖父母と父母の不和等
  - \*本人に係る状況
    - ・生活リズムの乱れ、あそび、非行・・・就寝起床時間が定まらず昼夜逆転になる、非行グループに入り非行行為を行う等
    - ・無気力、不安・・・無気力でなんとなく登校しない。登校の意志はあるが、漠然とした不安を覚え登校しない（できない。）等